



今月の表紙
field: 松原湖
photo & layout: 本誌・里

ダブル“豪快”特集

10 **特集Ⅰ** “西の豪快男” 南 元彦の新提案両ダンゴでもペレ宙でもない、豪快長竿釣法!

両ダンゴ的ペレ宙in野田幸手園

19 **特集Ⅱ** “東の豪快男” 生井澤 聡が、難攻不落の関東純野釣り二大ビッグフィールドで奇跡を起こす!

豪快純野釣りin与田浦&利根川本流

- 26 石井旭舟 **へらぶな浪漫街道**
《第五十七回》長野県・松原湖
- 32 小池忠教 **激釣の急所**
《第九回》最盛期の激釣!!
- 39 岡田 清 **Deep Side Angle**
《Vol.44》【椎の木湖両ダンゴ攻略】
- 44 **NEO-HERA Pro League 2007 第三戦【三名湖】**
- 46 わくわくフィッシングフェスティバル **マルキューベアへら鮒釣り大会**
- 48 **2007 東レ将鱗へらぶなカップ 関東大会 羽生吉沼**
- 50 斉藤心也 **炎のチョーテン12番対決!!**
《第10戦》vs藤間昭生 in 筑波流源湖
- 58,82 **〈新企画〉早川浩雄「鉄壁・早川スタイル」**
《第3回》夏の戸面原ダム、両ダンゴの宙釣り 浅ダナ〜チョーテン
- ★**AREA REPORT**
- 61,66 鵜沼堰(千葉県) 本誌・伊藤洋一
- 62,68 和気の池(石川県) 山本一朗
- 63,69 札幌池(岐阜県) 後藤 誠
- 64,70,71 分川池(奈良県),吉野池(福岡県) 前田誠志,河口正伸
- 134 **竹とともに生きる。**
《第46回》「光司」 萩原弘治さん

- 137 杉山達也の**SUPER SPLASH!**
《ROUND.20》清遊湖 本番直前トーナメント対策「浅ダナウインドセット&深田チョーテン」
- 143 中澤 岳 **フィールド真っ向勝負**
《Vol.21》真夏の富里乃堰、真っ向勝負!
- 148 戸張 誠 **関べら戦記2007**
【8月例会:三名湖“猛暑”】
- 152 稲毛利夫 **崖っぷち釣行!**
《第9回》師匠、泣きの再取材! 中里溜池ほか(茨城県那珂市)
- 154 **スナッフ わたしたち初めてへら鮒釣りを楽しめました!!**
- 156 吉川ひとみの**あっち こっち そっち♡ 激闘編**
《Vol.17》ひとピー、DUEL CUP2007チーム戦連覇を目指せ!!
- 194 **棚網 久の我流**
《第十九回》「良型チャンス到来!!」 三島湖
- 201 **へら鮒専門店 黒べえ松本 懇親釣り大会 聖湖**
- 202 **北川穂積 西の交友録**
《第二十一回》ゲスト:稲森 豊 釣り場:千種川(兵庫県)
- 206 **釣果予想クイズ**
- 208 **フィッシングレディ**
《今月のレディ》田村和子さん 清遊湖
※「田辺哲男 MYへら道」は誌面の都合によりお休みさせていただきます。

釣り場割引クーポン券

p.163~

野田幸手園 椎の木湖
清遊湖 谷和原大沼
上尾園 F.A吉羽園
谷養魚場 将監
柳生 F.P 筑波白水湖
泉堰 逆井HC
友部湯崎湖 三和新池
川越 FC
芦田湖水光園
鳥羽井沼 大上へら池
霧の沼 小川つり堀園
清川つくしFC
千代田湖・舟宿 千和
相模湖・釣舟 五宝亭
相模湖・釣舟 天狗岩
吉森HC
甲南へらの池 当麻池
水藻 FC 朝日池
釣り堀八十八
精進湖・釣舟 金風荘
西湖・釣舟 白根
西湖・釣舟 丸美
西湖・釣舟 青木ヶ原
府中HC

- 75 **へら鮒釣り 超基本講座**
《第31回》ペレ底
- 86 **ガチンコ道場**
《第22回》猛暑! みんな釣り場がいい汗かいてる?
- 91 **竹竿専門店 喜楽「光司」展**
椎の木湖主催 ジュニアへら鮒釣り教室
- 92 **都祭義晃 カリスマ伝説2007**
《Vol.22》~24時間フィッシング トマガへら鮒をすくう~ 富里乃堰
- 99 **江成公隆のトーナメンター、復活への道。**
《Vol.64》続・最終回!? ~マルキュークラブ対抗選手権一次予選~
- 106 **夢追釣人(ゆめおうちもの) 天野正由**
今月の夢・さすがの酷暑にも負けそう 相模川&田貫湖
- 110 **水辺のプラネタリウム 吉本亜士**
《今月の星空》「半夏生」
- 114 **最狂へら戦士養成所“鮒の穴” 漢タカハシ**
《第五十六話》へら鮒世界遺産認定! 「つりぼり天狗」へ急行せよ!!

- 119 **へら鮒を三枚に下ろす 西田美明**
《第10回》「何を今さら、されど今さら」
- 124 **水と戯れ、風と遊ぶ ホワイト**
《第10回》欲の満たし方
- 126 **野田幸手園新聞**
- 161 **ワクワク管理釣り場情報**
- 170 **小売店情報**
- ★**へら鮒BOX**
- 175 里ちゃんの新米編集長雑記
- 176 情報発信基地
- 179 ボイス
- 186 **ダン・へら名人クラブ対抗へら鮒釣り大会/ダン創業60周年記念釣り教室「名人塾」**
- 187 コラム「日研だより」 日研広報部長・遠藤克己
- 188 コラム「上村流!」 上村 恭生
- 189 コラム「紀州“想いの竹”のものがたり」 中峯伸行
- 190 プレゼント発表
- 191 広告索引
- 192 編集後記

STAFF

●発行人
根本百合子

●編集長
田中里史

●編集部
大場勝良
諸富一秋
伊藤小百合
伊藤洋一

●へら鮒NET
根本大作
高田 準

●企画
〈オフィス・えぶ〉
藤原 肇

この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の トーナメント、 復活への道。

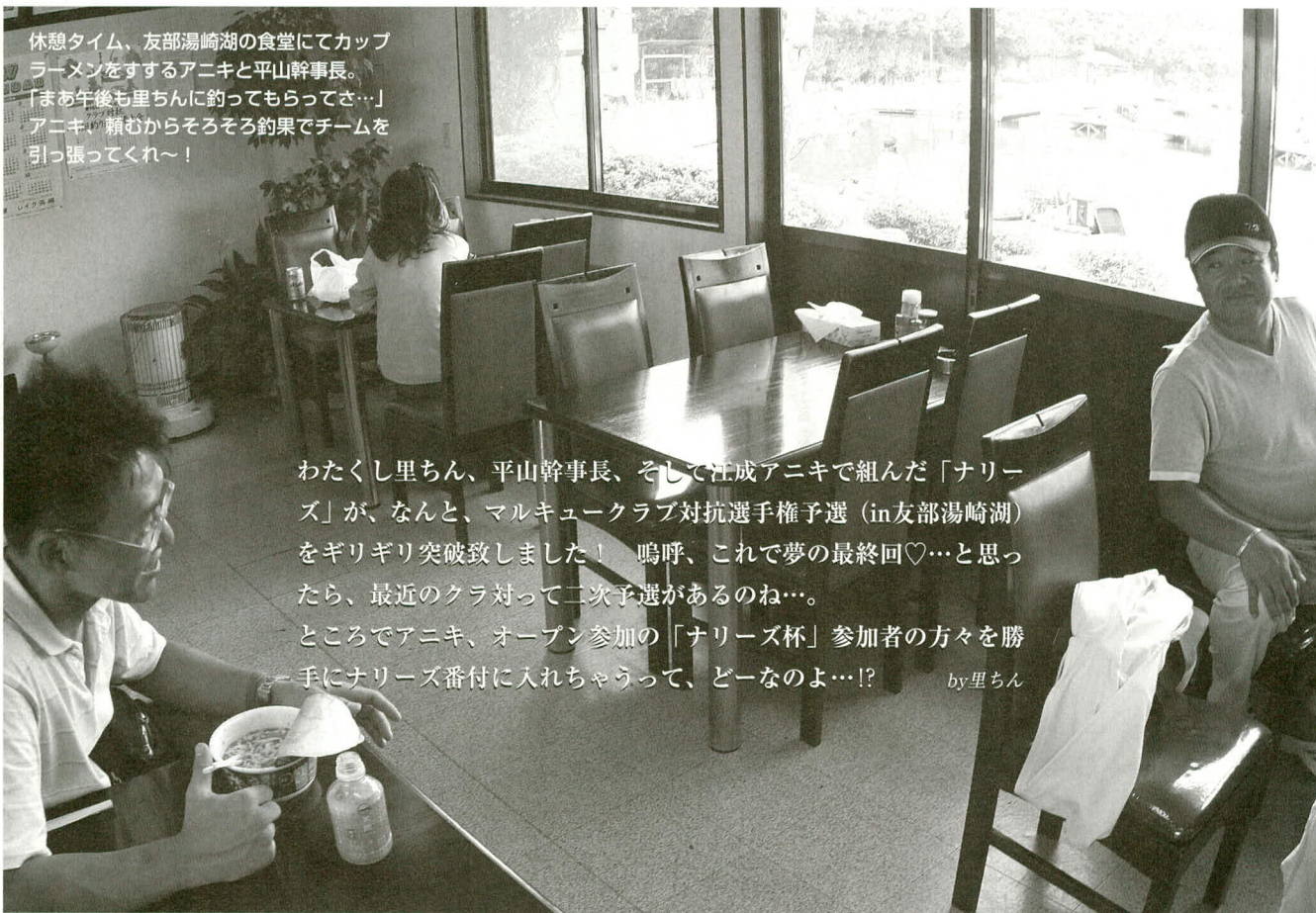
text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka
業界初、Web運動企画！ -いよいよ再発進！ (URL) <http://hesar.yokohamatsurumi.net>

「一歩進んで二歩下がる!?!」

〈Vol.64〉

続・最終回!?

～マルキュークラブ対抗選手権一次予選～



休憩タイム、友部湯崎湖の食堂にてカップラーメンをすするアニキと平山幹事長。「まあ午後も里ちゃんに釣ってもらってさ…」アニキ、頼むからそろそろ釣果でチームを引っ張ってくれ～!

わたくし里ちゃん、平山幹事長、そして江成アニキで組んだ「ナリーズ」が、なんと、マルキュークラブ対抗選手権予選 (in 友部湯崎湖) をギリギリ突破致しました！ 嗚呼、これで夢の最終回♡…と思ったら、最近のクラ対って二次予選があるのね…。ところでアニキ、オープン参加の「ナリーズ杯」参加者の方々を勝手にナリーズ番付に入れちゃうって、どーなのよ…!?

by 里ちゃん

僕と大竹君が初めてジャパンカップを予選通過した1993年、全国大会の水藻FCへ発つ際、オヤジは饞別をくれた。よほど嬉しかったのだろう。おそらく開店以来、初めての出来事だった筈である。

転職してから、僕はそれまでの頻度では顔を出せなくなっていた。それでもまだ、全く釣りに離れてしまっていたわけではなかったから、時々顔を出したし、だからこそ悲しい知らせは僕の耳にも入ったのだが、故人の御冥福を祈るとともに、自己防衛のために「責任を感じる」とは認識しなかつたのは確かで、何とも表現しようのない気分にもな

た。

へらコーナーが店の半分近くを占め、それなりに力を入れていたのは傍目にもよく分かったが、元々大きな店ではないので何でも揃うという訳にはいかず、値が張る買物物の時にかぎって別の店ですることが多かった。クセのあるオヤジにも好き嫌いはハッキリと分かれた。それでも、そこへ行けば誰かしらいたし、駅から近いこともあって、今の女房との待ち合わせにも使うほど僕も入り浸っていた。いわゆる溜まり場、である。たいして銭も落とさず、発売されたばかりの専門誌を夕読みしていく僕は口クな客ではなかったが、「趣味の店というのはそんなもんだろ」と、「サロン化してナンボ」と、正当化していた。

最初の一報は「脳溢血で倒れたが、店内にたった一人だったために発見されるのが遅れ、帰らぬ人となってしまった」という話だった。しかし、通夜で聞かされた真相は、店の資金繰りに行き詰まり、店主自ら命を絶ったということだった。

サルベージ。

った。僕は嫌な人間である。

最近よく書くが、「近所の大型釣り具チェーン店に、へら用品はほとんどない」という現実。と、不意にオヤジの顔が浮かんだ。当時は品揃えがイマイチと感じたが、今の僕の環境と比べれば天地ほどの差がある。そして何より、大型量販店はサロンたりえない。

横浜に住み、東京も近い僕に、地方在住の方から見れば、柴舟さんだってサンスイさんだって「近いじゃないか」と感じるだろうけれども、僕的には釣り具屋さんにもっともつとご近所にあつて欲しい。実際、もっと不便な環境の読者はたくさんいるだろうとは思いますが、僕の理想を言わせてもらえば、究極は家からチャリンコ圏。譲って通勤圏。でなければ、「仕事が終わってから翌日の釣りエサの買い出し」は不可能である。アフター9も厳しい現在の僕にとつて、「仕事帰り」は、どんなに近くても不可能だが、休日に「エサの買い出し」がメインイベントになつては困るのだ。「何かのついで」で済ませたい。そんなことで貴重な休日を使うなら一回余計に釣りに行きたいし、エサは釣り場で定価で買う方がマシだ。

釣りに限らず、郊外の大型店舗化が進み、近所の商店街が廃れていくという傾向は止められない時代の流れだ。チャリンコ圏は諦めよう。それに、なんだかんだ言つたつて、釣りは国民的レジャーである。大型釣り具店ならけっこつあちこちにある。だがやはり問題なのは、さつきも書いたが、そこでのへら用品の扱いである。一部の地域を除けば、バス釣りや海釣りコーナーに押され、へら用品は肩身の狭い思いをしている筈だ。そんなんで大丈夫なんだろうか、この釣りは。

一時期僕が釣りから遠のいていたのは、「仕事が忙しくなつてしまったから」とか、「家族が増えて小遣いが減り」とか、「家族サービス

に休日を充てるため」というような理由を、様々な場で書いてきたように思う。がしかし、もしかすると一番大きな理由だったのかも知れない、この悲しい事件を僕はすっかり忘れていた。いや、無意識に、忘れてしまいたかつたのかもしれない。振り返ってみると、事件以降、懐かしい「青春ストリート」を通つた記憶がない。用が無いから通らないのではなく、通りたくなかつたのかも知れない。

この連載とともにへら釣りを再々開してはや五年。いまだに行きつけの店がない僕は、ちよつと寂しい。でもそのおかげで無駄なモノを買わず、女房に怒られずに済んでいるという側面もあるわけで…。



「ナリーズが湯崎湖でクラ対一次予選通過！」と、ネタ的には結構オイシイ今月だった(やっぱ締め切りまでが長くても無駄かも…)。里ちゃん、ゴメン！、なかなか原稿が降りて来ず、仕方なくネットサーフィン(死語?)でお茶を濁す。いつもは、特にテーマを設けずブラブラするか、オークションを覗くくらいのもんだけど、今回は久しぶりに釣りのページを見て回つた。

クリスタルトマちゃん(都祭義晃)や達ちゃん(杉山達也)をはじめとして、有名人のブログがかなり盛んで驚いた。僕は流れに完全に逆行しているようで、自分のブログはすでに閉じてしまったが、タイトルの下にいまだに「業界初の○○運動企画」だなんて入っているし、しかも「再発進」だつて。次号からは「二回目の破局」つて書いてもらおうかしらん…。

田辺哲男氏のブログ(私設ファンサイトだが、ご本人も公認&参加)も、実は今回初め

て見た。

当然ながらバスフィッシングメインのブログでありながら、同じゲームフィッシングであるへらの話題もあつて面白い(さすがに本家、ナリーズ杯の話題はなかつた。が、もしあつたら田辺氏の大ファンである加賀氏は気絶したでしょうネ)。

へらを敵視しているバサーはどう受け止めているのだろうか:そんなことを思いながらトッページを眺めていると、「死ぬなよ! バスフィッシャーマン」というバナーが目についた。たどつてみて、僕はぶっ飛んだ…。

「書魚扱い」されるといふ、へらにはない大きな障害があつたり、ブームのピークは過ぎたと言われたりもしているバス釣りだが、僕の近所の量販店では、バスの有名釣り場がそばにあるわけでもないのに、いまだに店の半分ルアーじゃないかつていうノリだし、最近その近所にバスの専門店まで出来た。それでも、田辺氏はバス釣り、いや日本のゲームフィッシング全体の将来を真剣に憂いているのである。へらの将来を考える上で、ぜひ一読されたい。

<http://tanabefun.com/blog/>
http://blog.livedoor.jp/springer_tr/

そうそう、某巨大掲示板の中に、ナリーズの悪口も発見した。それだけ読まれているという裏返しであり、僕個人への攻撃ではなく僕達集団への批判という事態になってきたという事は、いよいよ責任も増してきたということである。気を引き締めたい。もっともその書き込み自体は、たいして発展しなくて残念(?)だつた。◆バカ丸出し◆ナリーズをこき下ろすスレ 1 フラシ目 ◆何様? ◆とかいうスレッドが立つようになったらホンモノ…かな。

粘着陸。

先月号で「大先生より般ピーの方がエライ」と書いた。これにはかなり反響があつて、賛否両論たくさんいただいた。

賛成の方の多くは、「よく言った! エライッ!」というものが主だが、正直申し上げて、そういうコメントを寄せる方々の中に、「だからつまり、自分達に、この釣りの今後を決める大きな責任がある」ことを自覚している人は少ないように感じた。「現時点での業界への不満」を「少しだけ代弁してもらつた」ことに満足しているだけでは何も進まない。「僕のコメントに同意」=「あらたな責任と義務も発生」ということなのである。先月号では、「次世代はクリスマスではなく、一般消費者が作るのだ」という文章も続が、見落としてはいないだろうか。

反対派というかなる中傷の人達のメールはここで紹介するまでもないが、名指して批判した覚えは僕に全くないのにもかかわらず、スーパースター擁護に必死な姿を見ると、「クリスマスと呼ばれる人達のファンは熱いな」と感じるし、「そこまで慕われて羨ましい」とも感じる。ただ、

「この業界は〇〇先生のおかげで今があるんです」

「そうですよ。業界への功績は計り知れませぬね。僕も尊敬していますよ。」

…と、会話が續かないのである。メールは返つてこない。功績と権力は、本来別次元だということも分らないレベルなのだ。だから、僕にそんなメールを送つても無意味だということも分らない。体制を維持したければ、反体制側へこんなメッセージを送るより、一般アングラマーへ向けてプロバガンダを仕掛

けるべきである。しかし、「般ピーをないがしろにする体制」を声高に般ピーに向けて発信するのは難しい。不可能だ。だから、現在の体制を維持している官僚(?)は、軟着陸を目指す。

「大先生方はいずれ隠居するから、それまでに緩やかに世間並みに変わっていく」

しかし、順番待ちをしている若手の中に、「権力をそのまま継承したい輩」が必ずいる筈だ。

「それじゃいつまでも変わらねえ」

と、疑問に感じる人々(ナリーズもその一部)は、好き勝手なことをやる。影響力の大きさは未知数ながら何かを仕掛ける反体制側と、赤狩りも含めて何もやらない体制側という構図であれば、間違いなく、流れは変わっていく筈だ。これが、運動家のささやかなエネルギー源である。

「ツーカーさ、ブログも閉じてすいぶん経つのによくメールリンク見落とさなかったね? かなり以前から見てるワケ? つま・り、みんなオレのファンってことでいいのかな?」

…と、いうのはモチロン冗談です♡

【*江成業務連絡?】副会長すんません。民族派を自認する副会長「個人」ですが、今回は「赤」にされちゃいました。ま、「ナリーズ」はエサも思想も(思考も)ニユートラルですから…ネ。



ぶふふががり。

ヒラリー幹事長と里ちゃん、そして僕の三人で組んだチーム「ナリーズ」が、湯崎湖で行われたマルキュー主催のクラブ対抗一次予選を突破してしまっただことは、前々項でチラッと書いたとおり。

トップリーナメンター級の実力を持つ里ちゃんと、成長著しいヒラリー幹事長と組むとあっては、僕が大ゴケしない限り予選通過は約束されたようなもので、僕は乗船に乗ったつもりで当日を迎えた。

試合中の昼休み。互いに枚数を確認しあう。僕はたいしたことないが、大ゴケというわけでもない。そして、幹事長の枚数はいい感じで、里ちゃんに至っては、竿頭級の枚数。

「じゃ、昼からデコでも平気だね♡」

他力本願な僕の発言に、迷惑そうな顔をする二人。しかし、そのくらいの枚数なのだ。何も今回一位を取る必要は全くない。むしろ無駄なツキは使わず、二次予選につなげたい。ギリギリ通過で十分なのだ。しかし…

結果発表を待つ間、なぜか里ちゃんの顔が暗い。釣果の話になると、言葉を濁すのも気になる。そして結果発表。ナリーズは9位で呼ばれ、無事予選通過。すると、安心した里ちゃんの口からとんでもないセリフが!

「いや〜ホツとしました! 実はニフラシと

も、おもしろいダウンだったんですよ〜」

「えっ? じゃ、ニフラシは何キロ?」

「いや…だから…そのお、ニフラシしか出してないんですよ」

「ちょっと待ってよ。今日はみんな15枚くらいで交換してたでしょ? 里ちゃんトータル何かよ?」

「50枚くらい…ですかね…」

「マイガッ! チミは競技者として失格!」
「うるさいなあっ! そんなら自分でも釣って下さいよ!!!」
「でもっとも。」

今回は椎の木湖。二次予選とはいえ、クラブ対では昨年まで決勝がとり行われていた聖地であり、さながら甲子園といったところ。事実上の決勝戦と見る向きもある。

「じゃ、全国大会出場ってことと同じなんで、最終回にしましょうか?」

と、里ちゃん。

「別に構いませんけどォ?」…でもないな。今はもう少しやらねばならない気がする…。

今回湯崎湖で行われた一次予選では、「ナリーズ」としての参加は僕らチームだけだったが、他のクラブ員として出場したナリーズメンバー全員が予選通過という結果になった。また、湯崎湖より前の一次予選で参加したメンバーも全員予選通過したことになる。二次予選会場の椎の木湖では、ナリーズ例会も兼ねちゃう?



「セットだよ」って言うておいたのに、めくるめく両ダンゴワールドに突入してチームの足を引っ張ったリーダー江成。その理由は「ガッテンっていうエサ、使ってみたかったから♡」。…ったく、試合中に裏書き読んでんじやねーよ! こうなったら二次予選では里が爆釣し、何が何でも「最終回」に持ち込むぞ! 次号をお楽しみに!

新作!!

慎重にテストを繰り返した底釣り専用タイプ。杉山作初の美しいブラックボディで登場!

【底釣りスタイル】



繊細な「底」を完全表現する専用タイプ。

- ボディは羽根2枚合わせ5.5mm径。精悍な極薄ブラック塗装仕上げを採用
 - ダイシン製ホワイトトップ(内径1mmパイプ)採用。軽量かつ視認性大幅UP!
 - サイズ：一番(T10cm B9cm カーボン足4.3cm)～六番(T17.5cm B16.5cm カーボン足4.7cm)
- ワンサイズごとにバランスを突き詰めた設計で、スムーズなナジミと理想的な返しを実現!
- 定価1本7,350円(税込)

取り扱い店(五十音順)

埼玉・越谷 かわせみ(☎048・969・5067) 茨城・下妻 こやの釣具(☎0296・44・1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館(☎03・3499・5025)
埼玉・入間 へらの三水(☎042・964・2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほその(☎0285・72・2215) 神奈川・川崎 鮎仙人(☎044・287・7470)
東京・吉祥寺 丸勝(☎0422・22・8923) 東京・青梅 吉川釣具店(☎0428・22・2467)

杉山作

西 平成十九年八月発行表番付 東

前頭 横	前頭 泰	小結 紫	関脇 蠶	南 峯	幕内 益荒男	幕内 平山春穂	関脇 夢	関脇 田中里史	小結 保科健二	小結 岡田光浩	前頭 綿貫正義	前頭 倉
江成公隆	佐藤紀重	木村浩重	平山敏郎	益荒男	平山春穂	田中里史	保科健二	岡田光浩	綿貫正義	倉		

蒙御免ナリース

NARIES

食江成公隆

副食 益荒男

e@naries.net

中田、史里、中田

「勝」にせほびがあるんじや...

WWW.NARIES.NET

営業時間 (10月~3月) 平日 午前7時~午後4時 日・祝日 午前6時30分~午後4時
 (4月~9月) 平日 午前6時30分~午後4時30分 日・祝日 午前6時~午後4時30分

定休日 毎週火曜日 (祭日の場合 翌日休業) ※第4火曜日と水曜日は連休

料金 1日/2,500円 半日/2,000円

規定 自由釣り池(2面)は、タナはウキ止めからオモリまで1m以上 **使用竿** 竿8~15尺 **水深** 3.5m

※ジャンボ室内鯉釣り、金魚釣りも楽しめます。

赤いリボン賞
2,500円

有限会社 中の島センター

埼玉県川口市藤兵衛新田254 ☎048-295-5194 (夜間296-7654)

武蔵野線 東川口駅 中の島センター
 陸橋 オリンピック 戸塚環境整備センター
 新栄団地 赤山街道 R4ハイパス 清門町
 鳩ヶ谷 鳩ヶ谷 GS

釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

1. ぐりへの鮎会
2. ぐりへの鮎会
3. ぐりへら鮎会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

ウキや小物の銘入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～
2回目以降同じものをご注文の場合
は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店:

柴舟(東京都江戸川区)

03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)

044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)

03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)

044-711-8266

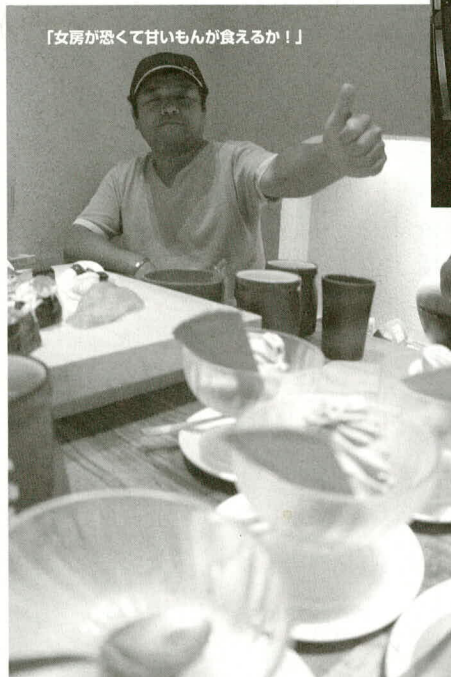
鮎仙人(神奈川県川崎市)

044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店
または下記HPまでどうぞ

office27
あとリエぐり

http://www.office27.com
E-mail: info@office27.com



「女房が恐くて甘いもんが食えるか!」



「今年は
セットしかやってないんだ」

努力の人、男・平山敏郎。クラ対に賭ける情熱はハンパではなく、里も何とか氏の想いに応えてあげたい。それには、「あの人」をいかにやる気にさせるか、なのだが…



「カンベンしてよ…」

「椎の木でも
ダンゴやっちゃおうかなあ〜」

↑「あの人」

試合後、副会長お勤めのチョ〜安くて上手い回転寿司屋でささやかな祝賀会。…にしても平山幹事長、食後のデザート、食べ過ぎじゃないですか…?
「おうよ! この勢いで椎の木湖もバクバクだぜ!」

サブライズ。

以前告知しましたが、10月27日に行われる椎の木湖主催の「フレンドシップ選手権」参加メンバーを、いよいよ発表しちゃいます! まだ募集してるところなので、「我らこそ!」と思う方々は、ぜひ当日お会いしましょう。
ナリーズA: 幹事長、ホッシー、里ちゃん、江成ナリーズB: 萩野、岡田き、天笠、吉川ナリーズC: 副会長、岡田み、木村、のりちゃん
えっ? このメンツがBって…

「第三回ナリーズ杯」 参加者募集!

前回の第二回目から一般公募はしたものの、「募集期間が余りにも短すぎ!」というクレームをいただきましたので、早めに告知致します。

第三回ナリーズ杯は、「11月23日 富里乃堰」です。

これは昨年の第一回と同じ日程なので、毎年恒例で秋の大会にしてもいいですね。しか

豪御免突撃工事的誤字脱字。

も、富里乃堰オーナーの壇谷氏の御厚意により、当日はなんと貸し切り! 「50人だっ構わないよ」とおっしゃっていただけてますが、そうもいきませんので、
募集定員は200名!!
と、設定します。詳細は次号にてお知らせしますが、受付はさっそく開始します。
「へら鮎社内 第三回ナリーズ杯係」
まで、ハガキにて応募して下さい。お名前と連絡先をお忘れなく!

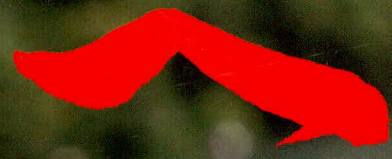
第二回ナリーズ杯をもって、ナリーズはちようど一周年を迎えました。
そこで、「非・会員も、ナリーズ杯に参加したら最後、断りナシで全員載っけてオモシロオカシイ番付を作る予定です!」と、実は先月の原稿で告知していたんですが、長過ぎてカットされちゃったんですね。で、ホントに断りナシで出来ちゃいました! クレームは編集部まで♡

じっくり御覧下さい〜(とりあえず、ウツチャンごめん!)

へら鮎釣りの楽しさを追究し続ける...

No.502
Oct.2007

10



へら鮎

九隻
印

Monthly fishing magazine herabuna

夏は終わっても
ますます熱い!!
ダブル「豪快」特集
両ダンゴでもペレシ。両ダンゴでもペレシ。両ダンゴでもペレシ。
「西の豪快男」南元彦の新提案。両ダンゴでもペレシ。両ダンゴでもペレシ。両ダンゴでもペレシ。
「東の激釣男」生井澤 聡が、難攻不落の関東純野釣り二大ビッグフィールドで奇跡を起こす!
豪快純野釣りin与田浦&利根川本流



〒194-0291 東京都日野市日野1-10-10 (毎月11日発行) 第42巻 第10号 2007年10月4日発行 三栄出版株式会社

昭和41年5月4日第3種郵便物認可
平成19年10月1日発行

伊藤さとし、断言。

チョーチンのベースは、 断然「天々」。

ダイナミックなウキの動きと、大型を釣り込んでいける快感。
そんな醍醐味が味わえるチョーチンの釣りで、
伊藤さとしは、2種類のエサを使い分けている。
ベースになるのは、伊藤が信頼する「天々」だ。



パターンA

「天々」400cc+「GTS」400cc+
水200cc+
「スーパーダンゴ」200cc

軽いエサが有効なときのブレンド。エサ付けはややラフに。チモトは指の腹で軽く圧をかける程度。ハリは軽め、ハリスは長めを使用。ウキはムクトップ。ストロークを生かし、上からサワリを出させながら、ダツと入るアタリを取る。

パターンB

「へらスイミー」100cc+水200cc+
「天々」400cc+「グルバラ」200cc+
「パウダーベイトヘラ」200cc

重いエサが有効なときのブレンド。ハリ付けの際は、ダンゴを転がし、表面にネバリを出させて、沈下途中の開きを抑える。ハリは重め、ハリスは短めを使用。ウキはパイブトップで、しっかりナジませ、ズバツと入るアタリを取る。

伊藤さとしが絶賛する「天々」の効果とは？
「へら鮒天国」で近日公開!!



丸マルキュー株式会社
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら
iモード・ホームページ
<http://www.marukyu.com/i>

マルキューホームページ内の「へら鮒天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。
<http://www.marukyu.com/> マルキューへら鮒メールマガジンも、お申込はこちらから。



定価 1000円 本体九五二円

雑誌 07907-10



4910079071077
00952